

院内助産システムの導入 —医師の立場から—



済生会宇都宮病院産婦人科
飯田俊彦

院内助産院、バースセンターとは？

定義 医療施設内において、妊娠・出産・産褥の一連の過程が助産師の介助によってのみ行われ、医療の介入は異常が発生した場合にのみ限定されるシステムを**院内助産院**とする。

この目的のため一定規模の専用施設を有する場合をとくに**バースセンター**と呼ぶ。

条件・助産師外来を有する

- ・助産師のみによる分娩完遂能を有する
- ・WHOガイドラインを基本とした自然分娩を原則としている(≡アクティブバース)
- ・医師のバックアップシステムを有する

助産師進化論



MWVC(助産師外来)の業務

- 妊婦検診
- 経腹超音波
- NSTの実施と診断
- 内診
- 膣内細菌培養検査
- 慣用薬処方:鉄剤、痔治療薬、
抗カンジダ薬
(医師の管理下において処方)
- 生活・保健指導
- 出産のコーディネート

MWC (Midwife Clinic)

妊娠週数	検査項目	助産師	医師
～19	経膈超音波		○
20	超音波(技師)、末血	○	
26	検査結果	○	
28	内診、PTD、クラミジア、 経膈超音波、50gGCT		○
30	検査結果、超音波(技師)	○	
36	GBS検査、内診	○	
40	NST、HPL、内診	○	
41～	分娩誘発		○

自然分娩を成功させる四つの条件

HOME

● HEART(気持ち)

● OBESITY(肥満)

● MUSCLE(筋力)

● ELASTICITY(柔軟性)

外来保健指導

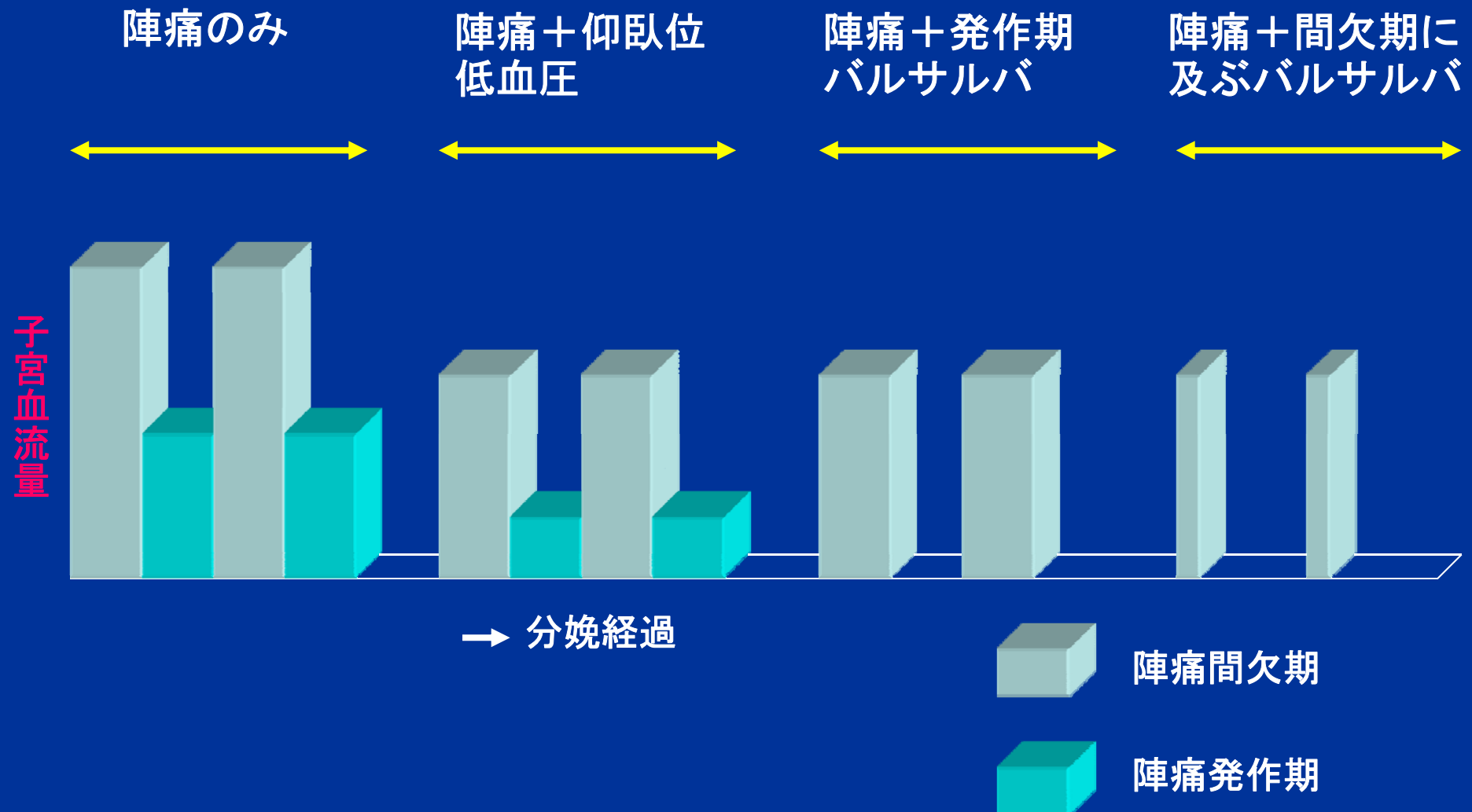
エクセサイズ

今や、自然分娩は自然のままではできない。



碎石位＋バルサルバ怒責手技ではなく、なぜアクティブバーブスなのか。

娩出期子宮血流量の変化



→ 良性サイクル
→ 悪性サイクル



分娩の種類による受け入れ施設の違い

← ローリスク分娩 → ← ハイリスク分娩 →



分娩の質



開業助産所



バースセンター



アメニティー



産院



安全性



総合病院



従来の産科病棟

妊婦の求めるもの

従来の受け入れ施設

当院の方針

医師立会いの有無についての要望

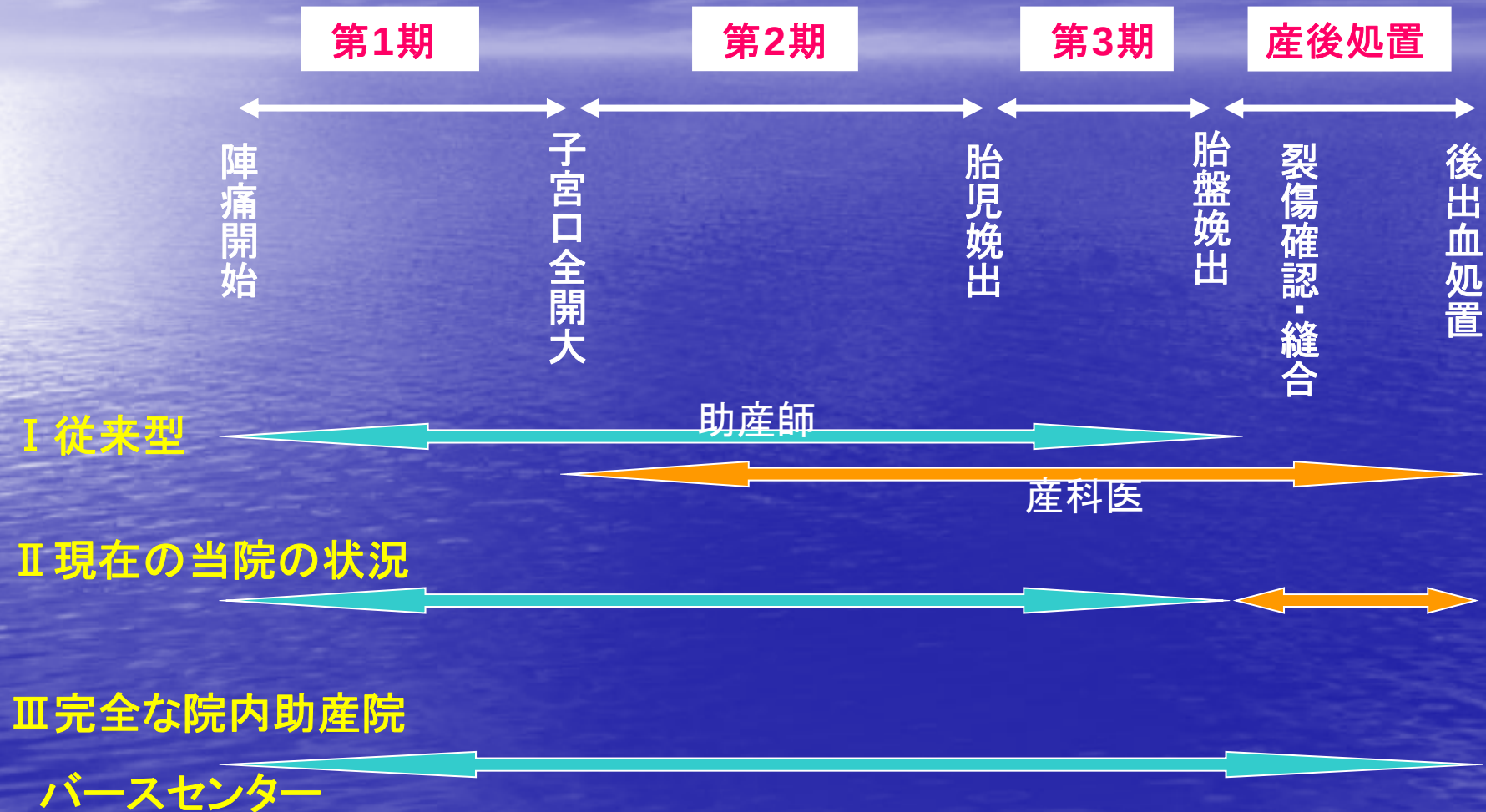
I 異常がなくても医師の立会いを希望する
21/83 , 25%

II 異常がなければ助産師介助のみでよい
62/83 , 75%

➡ 実際に助産師のみで分娩介助を完遂した例
36/62 , 58%

(H19/4月、妊娠34週で実施)

分娩における産科医と助産師との業務分担



当院のバースセンター業務



I バースセンタークリニック(助産師外来)

妊婦検診、超音波検査、投薬(医師の管理下)、
生活指導、マタニティーヨガ教室

II 自然分娩の介助

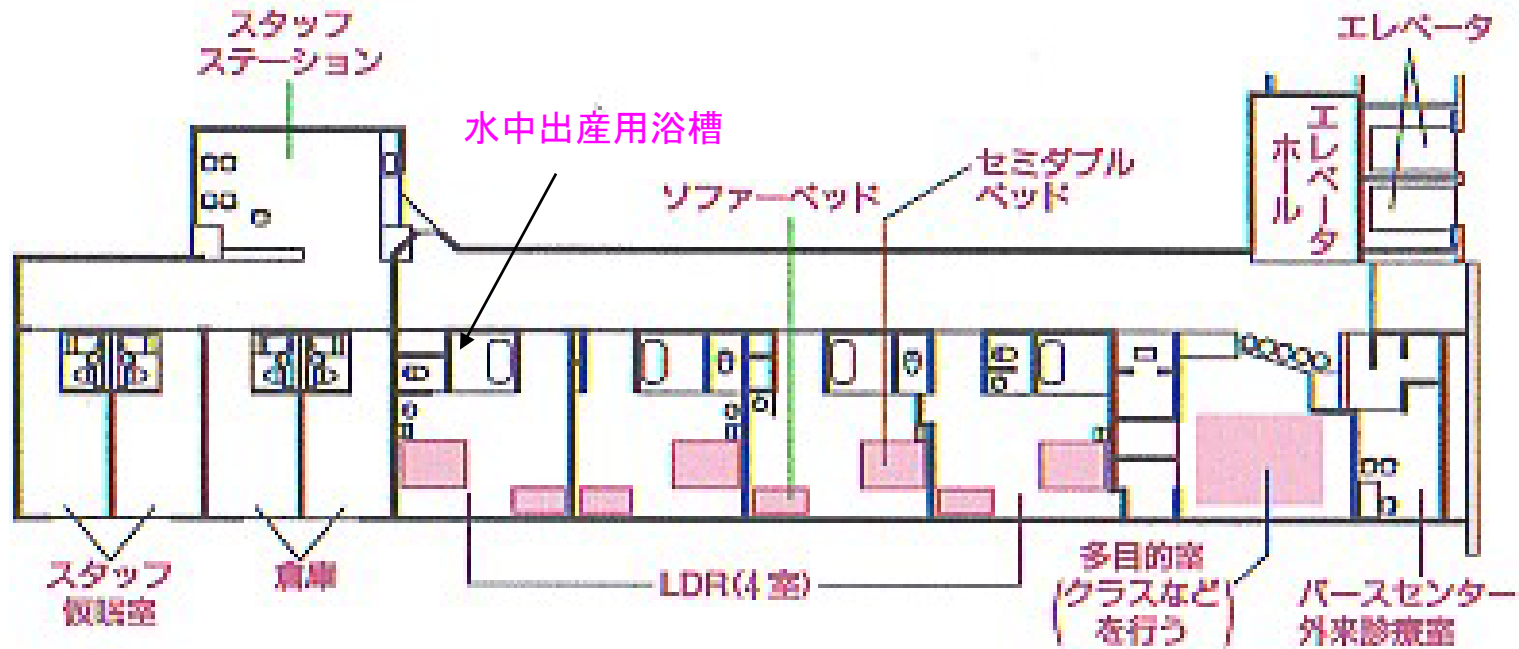
アクティブバース(水中出産)、異常分娩の判断、
会陰縫合の依頼

III 産後検診

1週間検診、1ヵ月検診、ハッピーバースクラス(
3ヵ月検診+ベビーマッサージ+座談会)

IV 母乳育児指導

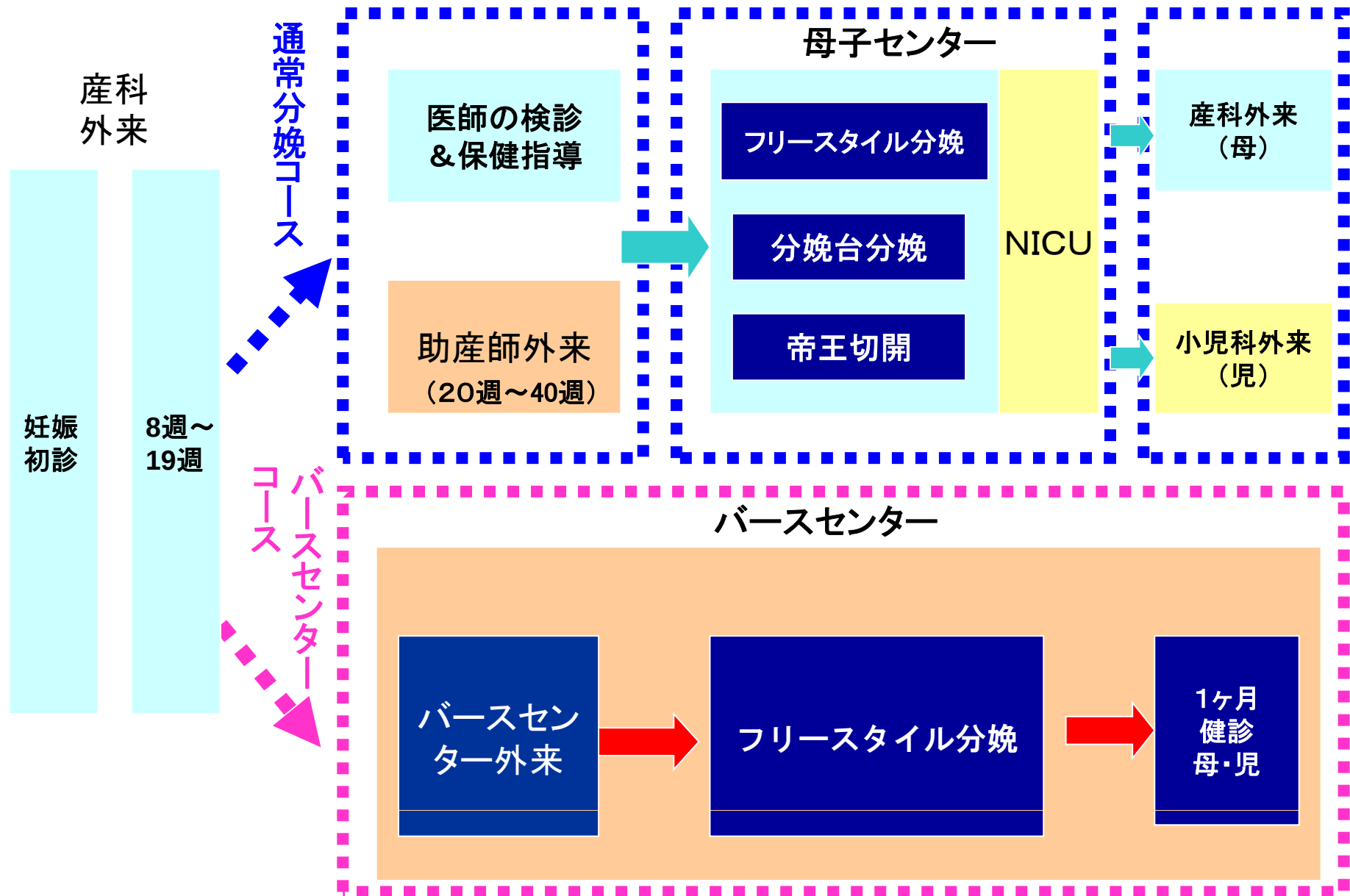
バースセンター見取り図



当院バースセンターの概要

- 平成20年11月5日 開院
- 全室LDR4床、分娩台なし
- スタッフ:専任助産師6名
- 予定分娩数 200件/年
(病床に余裕ができ異常症例の搬送を受け入れられる)
- 機能:アクティブバース、水中出産、
- 家族立会い、母児同室、助産師外来、多目的室

当院の分娩システム



バースセンター導入を妨げる 二つの障壁

I 従来の医療介入を前提とした
分娩方法

(碎石位固定＋バルサルバ手技)

II 助産師の責任論

(最終責任者は誰？)

病院淘汰時代に生存をかけ 当院が選択した戦略

- 積極的な助産師活用による医師負担の軽減
(助産師外来とバースセンターの設立)



助産師のリクルート

- 産婦人科医の労働資源を疾患分野へ重点配分
- 先進医療への取り組み

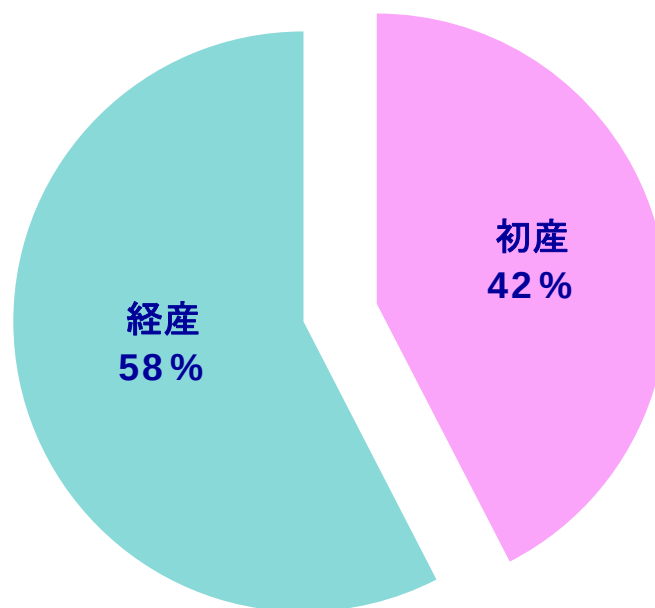


医師のリクルート

	2007年					2008年						
	1月	3月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	5月	7月	9月	11月
研修	院内助産院 開設セミナー			助産院研修				エコー研修				
助産師主導 分娩開始				分娩台の足台除去(フリースタイル分娩の実施)								
院内助産院 報告会		①→		②→	③→		④→					
妊娠～産褥異常 ガイドライン												
産科・小児科 医師コールフロー												
業務手順・ 基準												
システム・ 他部門												
4w連携基準												
広報・掲示				パンフレット		ホームページ						
質問票運用							BCメンバー 6名決定					
BCクリニック 開始												
マタニティ ヨガ												
設備関係				設計 打ち合わせ		工事着工					工事終了	

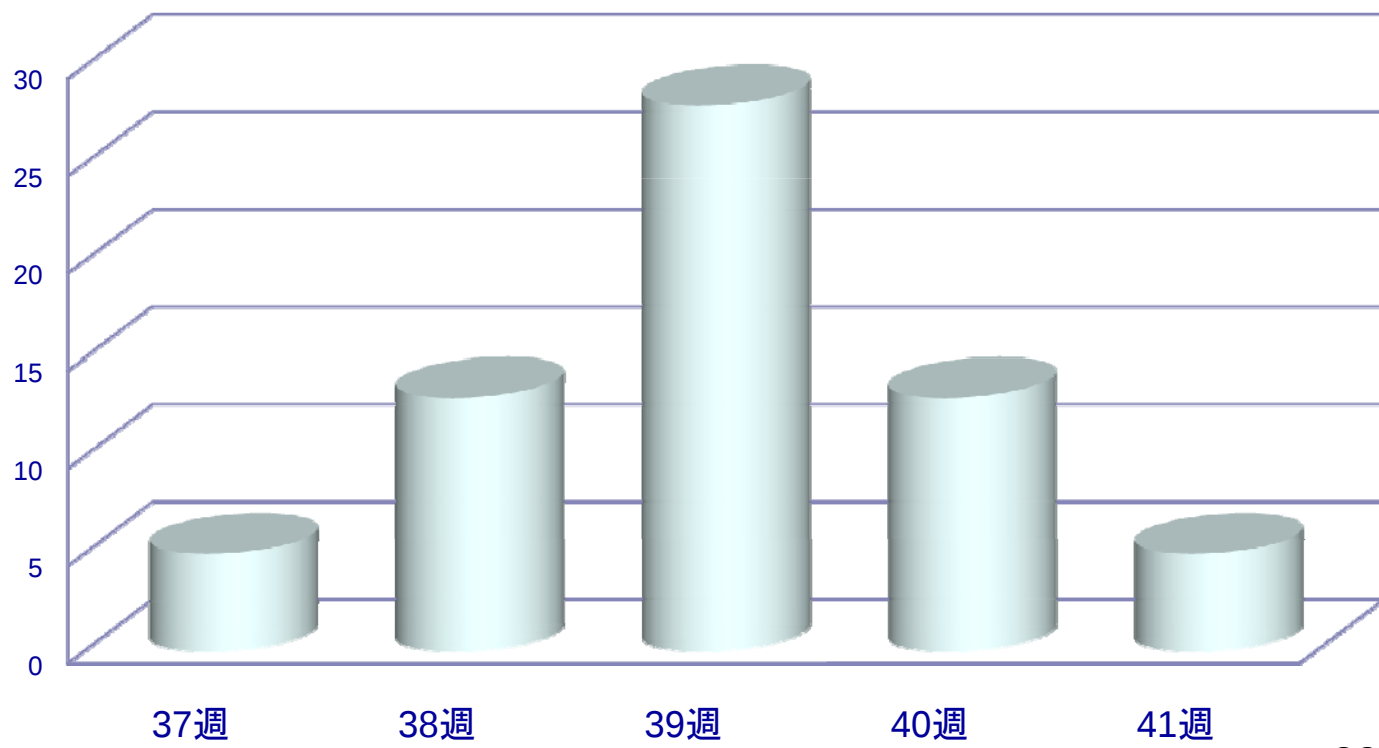


初産・経産別



n=66

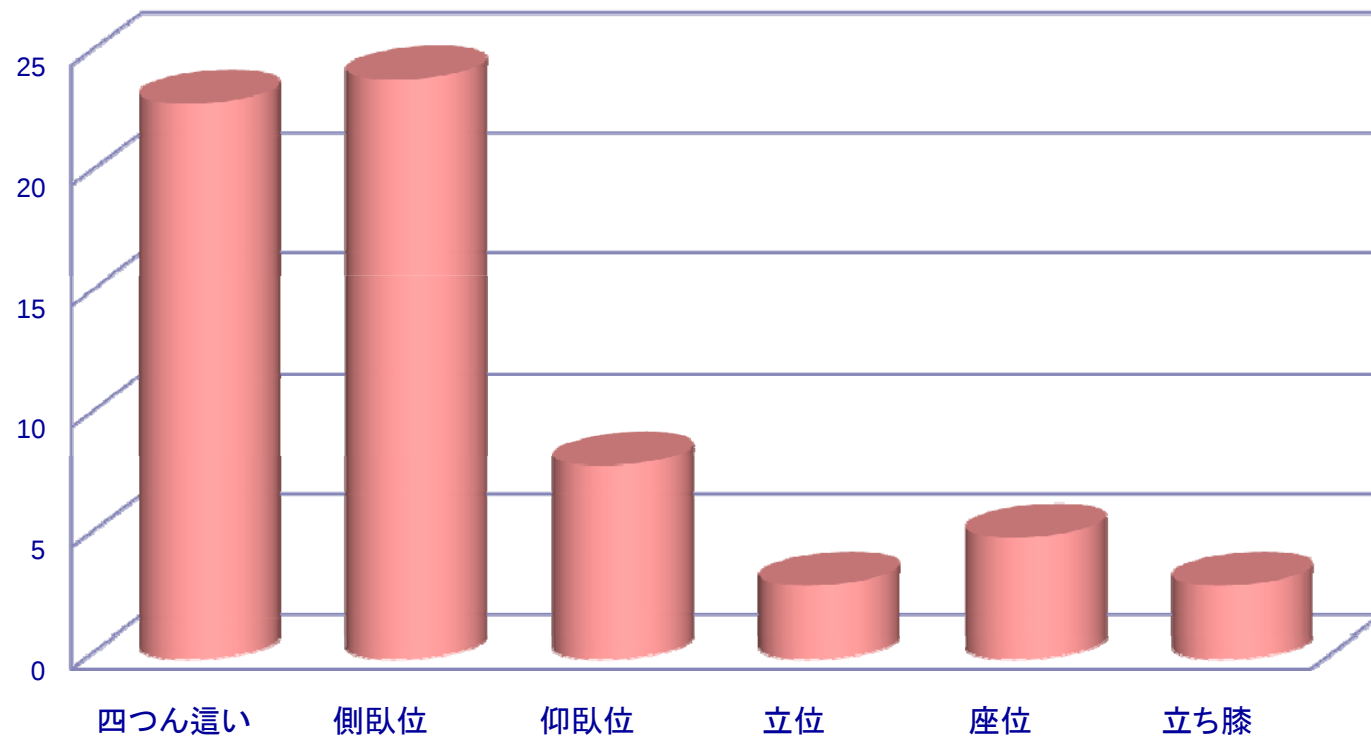
分娩週数



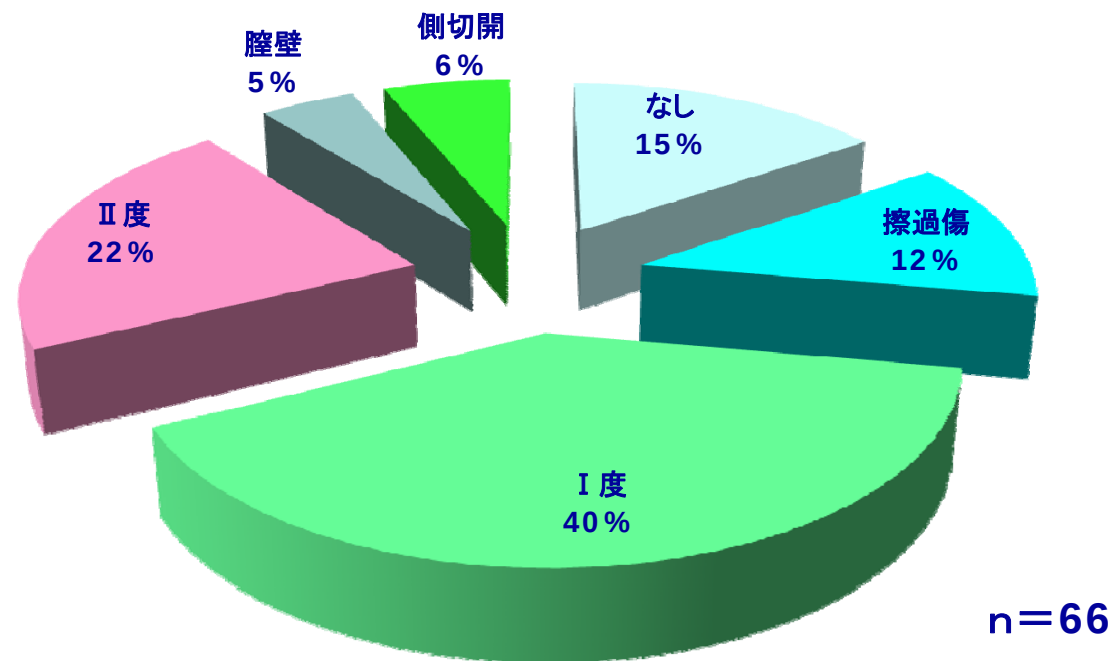
n=66

分娩体位

n=66



分娩時創傷







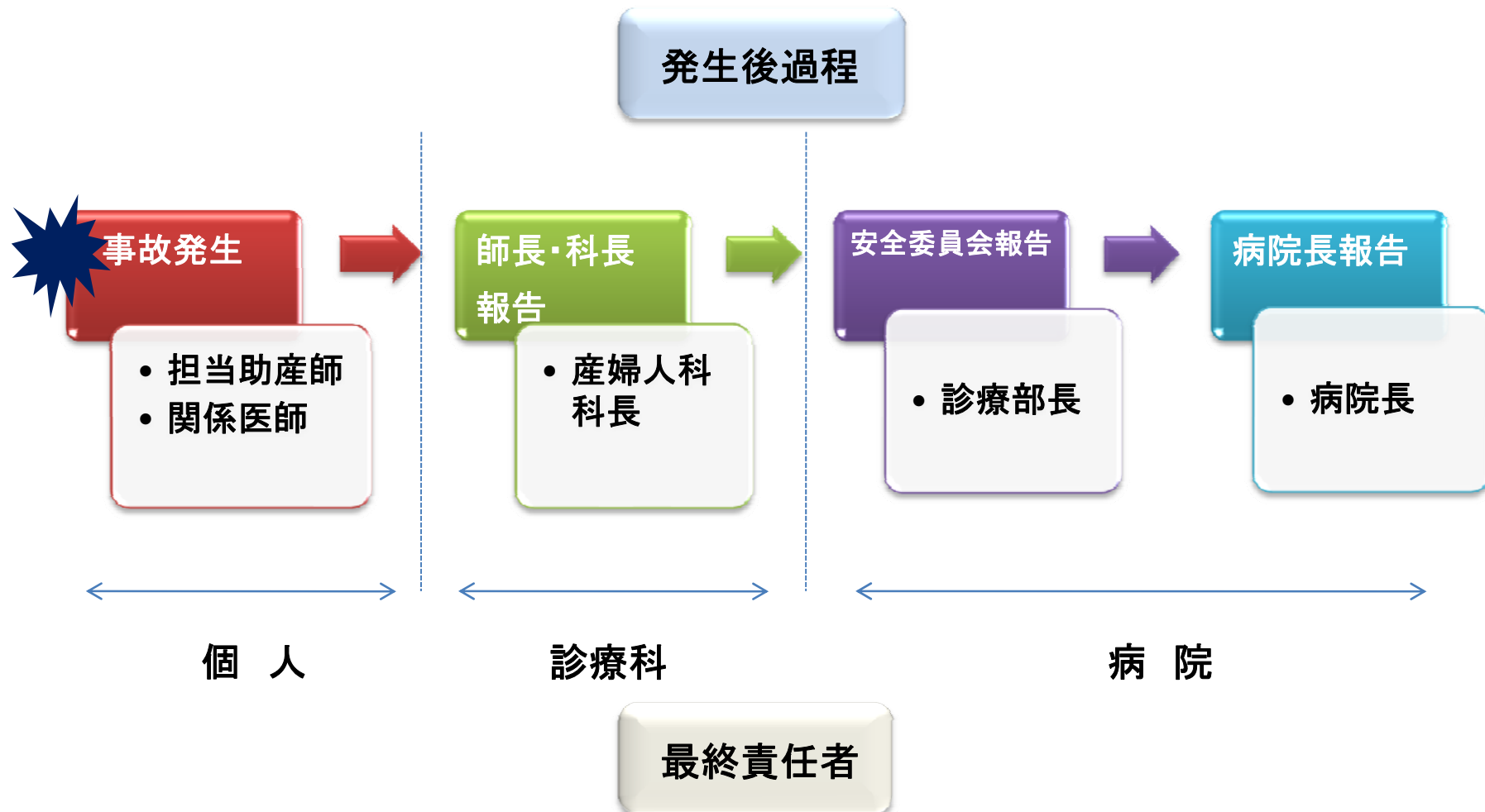






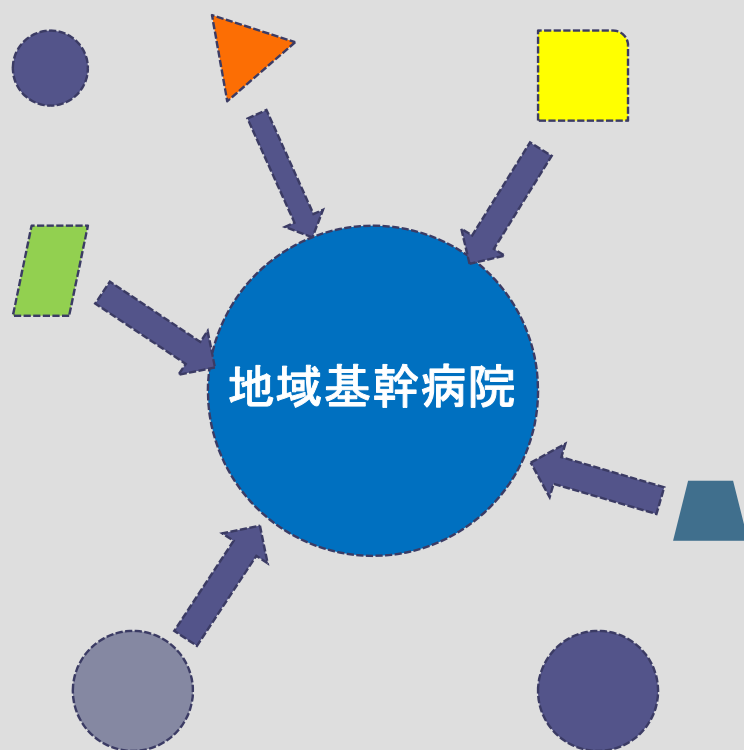
2009/06/21

バースセンターにおける事故発生後 各段階での最終責任者

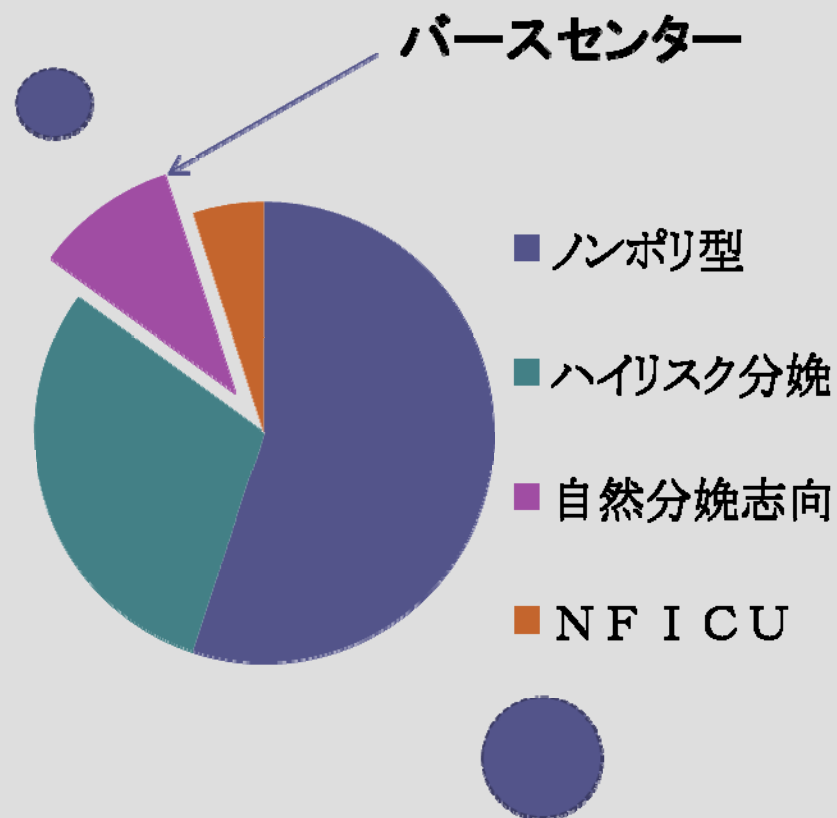


バースセンターの将来

方向を決定する二つのエネルギー



I 施設の集約化・センター化



II センター施設内機能の分担化